

悲しみよさようなら (1990)

WELCOME HOME, ROXY CARMICHAEL

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 97分

初公開日 1991/05/03

公開情報 ウェストケープ提供／松竹富士

【キャッチコピー】

まってるだけじゃ、だめ。

【解説】

オハイオの片田舎を10数年前に飛び出したロキシー・カーマイケルは、今やハリウッドで成功し、グラマー女優のトップと目されるスターだった。その彼女が久々に町に帰ってくる。小さな町は歓迎ムードで沸き返る。彼女は故郷に演劇センターを寄贈すると発表していた。変わり者で周囲から敬遠される15歳のディッキーも、彼女に憧れる気持ちは誰にも負けないつもり。おまけに、身寄りのない彼女は、ロキシーが自分と同じ年頃に生み落とし、夫に託していったという赤ん坊が自分だと頑なに信じていた……。今や押しも押されもせぬウィノナがアイドル女優に“さようなら”した、ピリオド的佳作。監督は「裸の銃を持つ男」などのJ・エイブラハムスで、わりと神妙に演出しているが、今二歩、うま味に欠ける。ただ、脚本の、意外性の中にも堅実な手応えのある面、役者陣の健闘は評価できよう。

【クレジット】

監督	ジム・エイブラハムズ	Jim Abrahams
製作	ペニー・フィンケルマン・コックス	Penney Finkelman Cox
製作総指揮	カレン・リー・ホプキンス	Karen Leigh Hopkins
脚本	カレン・リー・ホプキンス	Karen Leigh Hopkins
撮影	ポール・エリオット	Paul Elliott
音楽	トーマス・ニューマン	Thomas Newman
出演	ウィノナ・ライダー	Winona Ryder
	ジェフ・ダニエルズ	Jeff Daniels
	トーマス・ウィルソン・ブラウン	Thomas Wilson Brown
	ライラ・ロビンズ	Laila Robins
	ダイナ・マノフ	Dinah Manoff
	サチ・パーカー	Sachi Parker
	フランシス・フィッシャー	Frances Fisher
	グレアム・ベッケル	Graham Beckel
	カーラ・グギーノ	Carla Gugino
	ヴァレリー・ランズバーグ	Valerie Landsburg
	ジョーン・マクマートリー	Joan McMurtrey